

日本ネパール友好協会 定例会合議事録

2011年11月23日

日本ネパール友好協会 事務局

開催日時：2011年11月22日（火曜日） 19:00～21:20

開催場所：立川市柴崎会館 3階学習室

出席者：武本孝史、宍道直己、渡部調匡、長野 寛、村松良記、桑原文子、澤 圭子、
山本由美子、久保田忠義、山岸トシ子、池田隆男、江袋美恵子、江袋知子、
松村鈴子、増田正三郎（敬称略 15名）

議事：

1. 近況報告について 武本さんから以下の通り近況報告がありました。

○JITCO（国際研修協力機構）を通じてのネパール人への就業支援活動：

1) 2011年6月より名古屋で実施中の「熔接業」研修者4名に加え、

新たな研修者受け入れの諸準備手続きのため、三瀬谷（南紀線沿線）の
「研修機関」訪問、24, 25の両日再度通訳業務を兼ねて出向予定です。

2) 茨城県の「農業研修受入れ元」、町議会議員和田様とネパールの「人材送り
出し機関」との契約（手続き、費用など）のお膳立てを行いました。

ネパール駐日大使（前任、新任）が鹿島農協を訪問され、協力要請を兼ねた
挨拶のためご訪問下さったとのことで、新聞報道がありました。

2. 新会員開拓及び開拓用媒体について 事務局から報告、提案がありました。

○本日現在の会員数：78名⇒今年度目標100名まであと22名です。

○開拓媒体は、提案された案を基に原案を事務局で作成することが決まりました。

3. 「専用ホームページ」について 武本さんより資料に基づく説明がありました。

○「ホームページ」への「掲載内容」、「事業関連収入確保案」、「専用窓口設置」等
出席者から活発なご意見が出されました。

○次回「定例会合」に企画立案者の石田さんにご出席を要請し、管理をお願いする
方向で検討することとなりました。

4. 今年度分支援金授与方法について 以下の通りの検討がなされました。

○武本さんが諸般の事情により直接現地にお届けできないため、ネパール駐日大使
館から日本駐ネパール大使館を通じてダンクタ、ゴルカ、孤児施設に支援金を
渡すこととなりました。（授与時の写真撮影実施を証憑とします。）

5. 協会運営について

○日本ネパール友好協会法人の運営に係わる事項を具体的に決定して行くことが
確認されました。⇒協会活動への協賛企業・店舗・スポンサー募集を通じて
協会発展の余地を広げるため、分かりやすいビジュアルな表現で「活動報告」
を掲載する等、皆さんの智慧を結集し工夫をこらすこととします。また、会員
の年次更新を分かりやすい仕組みにし、協会運営コストを個人負担に依らない
形にすることとなりました。以上

